

# 農作物技術情報 第8号 畜産

発行日 平成29年 10月 26日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<http://i-agri.net/Index/gate002>」

## ◆ 分娩間近の牛の観察 分娩看視カメラを使って、分娩看視をもっと楽に行いましょう。

### 分娩間近の牛の観察

#### (1) 分娩看視カメラの活用

分娩は昼夜関係なく起きるため、分娩の介助や分娩直後の子牛の処置等に備えて分娩を看視することは、飼養する人にとって体力的、精神的に大きな負担となります。それを比較的安価で設置の容易な防犯カメラを活用して解消することができます(写真1)。

夜間(特に冬季)に自宅(事務所)と牛舎間を分娩看視のために何度も往復するのは大変な労力ですし、分娩間近で神経質になっている牛にもストレスがかかります。

分娩看視カメラを設置すれば牛にストレスをかけず、分娩直前まで自宅等で分娩牛の看視が可能となります(写真2)。



写真1 防犯カメラを活用した看視カメラ



写真2 テレビに映るカメラ映像

#### (2) 分娩看視カメラ設置方法

いろいろな設置方法がありますが、ここでは一番標準的な無線タイプのカメラの設置例を紹介します(図1)。

分娩看視カメラ設置についての詳細は最寄りの普及センターにご相談下さい。

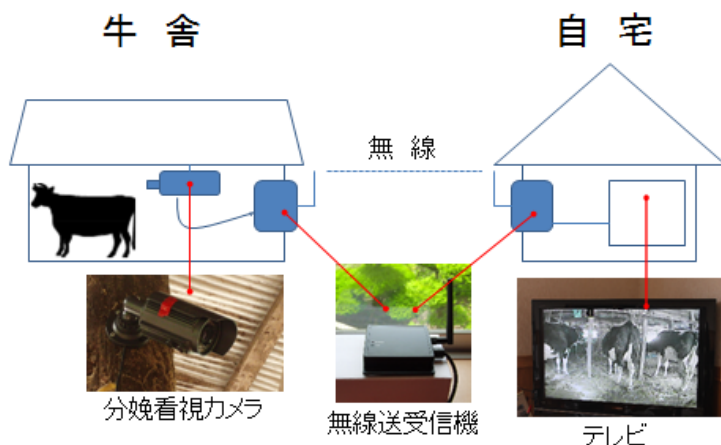


図1 分娩看視カメラ設置例

注1 音声もカメラの機種を選べば聞くことができます。

注2 複数のカメラ映像を1台のテレビでみることも可能です。

自宅だけではなく、外出先でも牛の様子を確認したい方には下記のようなWEBカメラとスマートフォン（スマホ）の組み合わせがお勧めです。下記のように分娩看視を強化しながら省力化を実現している事例もあります。

**事例** M市内の黒毛繁殖農家(酪農と複合経営)  
**WEBカメラ+スマートフォン(スマホ)方式  
(録画機能付)を導入**

自宅～牛舎まで  
片道約10kmを通勤(車で15分)

自宅・外出先でスマホ看視

農家の感想

- 1 家族と外出しやすくなり、導入前よりも分娩看視の目がいきとどくようになった。
- 2 いつでも分娩予定牛を確認できるので、牧草収穫作業がロスなくこなすことができるようになった。

(3) 設置にあたって気になることベスト3

- 1 Q 牛舎と自宅が離れているけど大丈夫？  
A 無線タイプでは通信可能距離は見通しで200m。  
しかし、間に障害物(建物、林など)があると送信距離が低下しますので注意が必要です。
- 2 Q どのような画像が映るの？  
A 赤外線照射機能がついたカメラであれば、昼はカラー、夜は白黒で映ります。
- 3 Q 資材代はどのくらいかかるの？  
A 設置型やカメラの機種・能力で金額は増減します。  
表1に設置事例における費用を紹介します。  
WEB型はインターネット環境の整備が必要となる場合があります。

表1 設置費用の例

設置型	設置費用
無線型	6～8万円
WEB型	18～22万円

次号は11月30日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日～11月15日は  
秋の農作業安全月間です**

**いつもの慣れが落とし穴  
急がずあせらず 農作業安全**

中央農業改良普及センター県域普及グループは、地域農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。